



広報資料

平成 29 年 9 月 21 日

ラジオNIKKEI  
(株式会社日経ラジオ社)

# 平成 29 年 日本民間放送連盟賞 特別表彰部門「放送と公共性」

# 優秀賞受賞！

## 「患者からの“いのち”のメッセージの発信」

“患者が主役”の企画理念と事績が評価される

10月4日(水)、11日(水)に

## 受賞対象の特別番組を放送！

ラジオNIKKEI(日経ラジオ社)は、「患者からの“いのち”のメッセージの発信」を平成29年日本民間放送連盟賞の特別表彰部門「放送と公共性」に出品し、優秀賞を受賞しました。

がん患者団体や脳卒中・脳梗塞患者団体、肝疾患患者団体等と企画協議し、番組と連動したイベント、シンポジウムなど多岐にわたる活動を実施。放送という枠を超え、多くの患者の声を広く社会に伝え続けたことが評価されました。

ラジオ NIKKEI では今回の受賞を記念して、受賞対象番組である「日曜患者学校」、「働くがん患者学校」を再構成した特別番組「患者からの“いのち”のメッセージ」を10月4日(水)、11日(水)の11:35～12:15(ラジオNIKKEI第1・ラジコ1)に2週連続でお送りします。再放送は10月18日(水)、25日(水)の同時間。ラジコならスマホ、PCでお聴きいただけます。



○特別番組放送日時

## 特別番組「患者からの“いのち”のメッセージ」

10月4日(水)、11日(水) 11:35~12:15 ラジオNIKKEI第1・ラジオ1

再放送 10月18日(水)、25日(水) 11:35~12:15 ラジオNIKKEI第1・ラジオ1

○受賞事績紹介「患者からの“いのち”のメッセージの発信」

‘09年・開局55周年記念番組「がんからの出発～いのちみつめて」に端を発し、病を患う者自らが番組企画に参画し、自らの体験を語り、学び得たことを語り合う場として番組を放送。当初のがん患者団体から、脳卒中患者団体、肝臓疾患団体等と参加団体が増え、これに伴い番組名等もその時に応じて変えて放送してきました。

そのユニーク性から新聞・雑誌やテレビ番組(NHK、民放とも)でも取り上げられ、とりわけ番組内容がそのまま出版化された『今日という日の花を摘む』(実業之日本社)のほか、患者や家族、学生が集うシンポジウム等の公開イベント放送などが実現しました。

今回の事績報告は、そうした7年間の歩みの一端をまとめたものです。

○日本民間放送連盟賞とは

日本民間放送連盟賞(連盟賞)は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟(民放連)が1953(昭和28)年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。表彰は、毎年秋に開催する「民間放送全国大会(民放大会)」の式典席上で行われます。

なお、「放送と公共性」は、放送の公共性を強く意識しながら民放各社で取り組んでいる企画や開発の事績に対して授与される賞です。

以上

資料に関するお問合せ先	ラジオNIKKEI 経営企画室 高山 英久
	tel : 03-6205-7810 mail : h-takayama@radionikkei.jp